

別紙之通法 仰出以有る 京前御渡
お成以各省事務章程中此權限
抵觸矛盾者此廢止以條以旨可
相心得事

明治六年五月二日

太政大臣三條實美

勅旨

明治四年辛未七月制定スル所官省ノ位置
 職責ノ権限各其序ヲ得ルト雖モ當今ノ時勢
 現務上ニ於テ或ハ其弊ナキ能ハス故ニ太政官
 ノ職制章程ヲ潤飾ス百官其レ之ヲ奉
 養セヨ

明治六年五月二日

太政官職制
天皇陛下親臨
心院
一員
掌
諸上書ヲ奏問ニテ制可ノ裁印ヲ鈐ス
左右大臣

太政官職制

天皇陛下親臨

心院

太政大臣

一員

天皇陛下ヲ輔弼シ萬機ヲ統理スルヲ掌ル

諸上書ヲ奏問ニテ制可ノ裁印ヲ鈐ス

左右大臣

職掌太政大臣ニ垂ク太政大臣欽席ノ時ハ
其事務ヲ代理スルヲ得ル

参議

内閣ノ議官ニシテ諸機務議判ノ事ヲ掌ル

以テ職トス
大内史

諸機務ノ文書法案ヲ勘査シ國史ヲ修メ官記
位記等ノ事ヲ掌ル

權大内史

職掌大内史ニ同シ

少内史

機務ノ文案ヲ草シ官記位記ヲ造リ記録ノ事
ヲ掌ル

權少内史

職掌少内史ニ同シ

大外史

文書記録傳達受付官中用度等ノ事ヲ掌

ル

權大外史

職掌大外史ニ同シ

少外史

文書法案記録等ノ事ヲ掌ル

權少外史

職掌少外史ニ同シ

權大主記

權大主記

中主記

權中主記

少主記

權少主記

各課ヲ分テ官中書記計筭其他ノ事務ヲ處

ス

内史所管七課一局ヲ置キ各其事務ヲ處ス其

課長局長ハ奏任以上ノ官之ヲ專任又ハ兼任

ス

履歷課

監部課

賦務課

法制課

庶務課

歴史課

地誌課

翻譯局

外史所管ニ課ニ局ヲ置キ各其事務ヲ處ス其課長局長ハ奏任以上ノ官之ヲ專任又ハ兼任ス

記録課

用度課

印書局

博覽會事務局

六部寮

頭

寮中諸官員ノ首長ニシテ式禮祭祀一切ノ事務ヲ管理スル事ヲ掌ル

寮中諸官員ノ處務ヲ指令シ各課ノ事ヲ統督
又

寮中諸般ノ事務章程或規ニ照シテ之ヲ踐行整
理シ三職ニ對シ其擔深ノ責ニ任ス
掌管ノ事務ニ於テハ三職ニ對シ其當否ヲ亦明

スルヲ得ル

各課ヲ廢立シ及寮中ノ諸規則ヲ更正スル等ノ事
アレハ正院ノ交裁ヲ乞テ之ヲ處置ス

寮中諸官員ノ能否勤惰ヲ監視シテ之ヲ進退黜
陟スルト其員ヲ増減スル等ハ審按具狀シテ正院
ノ交裁ヲ乞フ

権頭

職掌頭ニ同シ

助

寮中各課ノ長トナリ其事務ヲ擔当スルヲ掌
ル

各掌管ノ事務ヲ整理スルニ於テ頭推頭ニ對シテ
其責ニ任ス

推助

職掌助ニ同シ

大掌典

祭事神饌ヲ掌ル

大属

中掌典

推大属

少掌典

中属

推中属

大神部

大正官

大正

大舍人番長

大伶人

少属

中神部

大舍人

中伶人

權少属

少神部

権大舍人

少伶人

各課ヲ分テ寮中諸般ノ事務ヲ履ス

左院

職制章程追テ定ムヘシ

右院

各省長官次官

各当務實際ノ可否ヲ議スルヲ掌ル

勅令ヲ以テ臨時之ヲ開ク

太政官

正院事務章程

正院ハ

天皇陛下臨御シテ萬機ヲ總判シ太政大臣
左右大臣之ヲ輔弼シ參議之ヲ議判シテ庶
政ヲ獎督スル所ナリ

太政大臣左右大臣ハ各一員ヲ限リ參議ハ定

員ナリ

元ソ立法ノ事務ハ本院ノ特權ニシテ總テ内閣
議官ノ議判ニヨリテ其得失緩急ヲ審案ニ行
政實際ニ附スヘキモノハ奏書ニ允裁ノ鈐印ヲナシ
然ル後主任ニ下達シテ之ヲ處分セシム

元ソ允裁ヲ乞フ奏書ハ内閣議官裁判ノ上
内史其部類ヲ分チ之ヲ本帖及副本ニ寫シ本
帖ニ議官之ニ連印シ内史之ニ記名シ之ヲ太政
大臣ニ出ス太政大臣之ニ鈐印シテ御批允裁ヲ

受テ外史ニ付シテ奉行セシム

但内閣ノ議決スレハ即日本文ノ手續ヲナシ御

批允裁ヲ經レハ翌日之ヲ頒布スルノ恒例トス

元ソ帝國一般ニ布告スル制度條例及勅旨特例
ノ事件ハ太政大臣ノ名ヲ以テ本院ヨリ之ヲ發令

ス

諸省使寮司局ヲ處立分合ニ行政事務取
捨ノ便宜ヲ謀リ緩急ヲ判スルハ皆本院ノ特

権タリ

勅書奏書ニ加名鈐印スルハ太政大臣ノ任タル
ヘシ

元ノ勅任官ノ薦擧免黜ハ

宸断ニ出ルトモ元必ス内閣議官ニ諮リ太政大

臣之ヲ補賢シテ進退ス

元ノ奏任官ノ進退ハ其所轄ノ奏聞ニヨルト雖

モ必ス内閣議官ニ諮リ太政大臣之ヲ處置ス

本院中判任官ノ進退ハ其所轄ノ具状ヲ得内

史ヲシテ之ヲ處置セシム

元ノ裁判上重大ノ訟獄アレハ内閣議官其事

ヲ審議シ或ハ臨時裁判所ニ出席シテ之ヲ監

視スル事アルヘシ

議政行政ニ属スル諸文書法案又ハ勅書令

條差除黜陟ノ記録等ハ内史ニ付シテ司掌

セシム

恒例ノ公文既發ノ命令通常ノ達書等ハ外
文ニ付シテ司掌セシム

内外史所屬ノ各局課式部寮等ノ事務ハ各
其主任ヲシテ之ヲ管理セシム

本院中專掌スル事務ノ條款左ノ如シ

第一款

帝國經理事業ノ緩急ヲ考勘シ之カ目的ヲ
達スル事

第二款

諸制度諸法律及諸規則ヲ草案ニシテ議
決スル事

第三款

賞罰ノ事

第四款

歳入ノ事

既定ノ諸租稅ヲ増減變更スル事

新諸租稅ヲ興ス事

第五款

歳出ノ事

諸官省各局各地方官公費ノ額ヲ定

ムル事

諸官祿及旅費其他雜費ノ制限ヲ定

ムル事

諸族ノ秩祿及社寺給與ノ制限ヲ定

ムル事

臨時諸費ノ制限ヲ定ムル事

非常ノ軍費及國費ヲ裁定スル事

第六款

貨幣製造ノ方法及其品量ヲ定ムル事

第七款

金券ヲ發行スル事

第八款

内外國債ノ事

第九款

度量衡等ヲ改正スル事

第十款

州郡ノ經界ヲ畫定シ及府縣ノ制置土地ノ名稱等ヲ更正スル事

第十一款

諸港津ヲ開閉スル事

第十二款

馱遞運輸ノ法及郵便規則ヲ改メ道路ヲ變換シ里程ヲ釐正スル事

第十三款

地方警邏ノ規則ヲ定メ或ハ之ヲ變革スル事

第十四款

錢道電信ノ行線燈臺設置ノ場所ヲ定ムル事

第十五款

兵制ヲ改革スル事

第十六款

兵員ヲ増減スル事

第十七款

鎮名兵營及提督府等ヲ變更スル事

第十八款

城壘武庫等ヲ築造スル事

第十九款

裁判所ノ権限ヲ定ル事

第二十款

各國條約ノ事

第二十一款

官員ヲ増減スル事

内閣ハ

天皇陛下參議ニ特任シテ諸立法ノ事及行政事務ノ當否ヲ議判シ凡百施政ノ機軸タル所ナリ

内閣ノ職負ハ各地方監察按撫市政等ノ故ヲ以テ特命派出ニ各部ヲ巡回スルヲアルヘシ
元々行政實際ニ涉ル事項ハ必ス其便否得失ヲ主任ノ長官ヲ呼ビ之ニ諮問シテ後太政大臣ニ出スヘシ

當病不參ノ者アリハ回議ヲ其邸ニ送り其所見ヲ取ルヘシ

御批

右職制事務章程

上裁欽定スル所ナリ能ク之ヲ守リ其程限ヲ愆ルカレ

明治六年五月二日 奉勅太政大臣三條實美

卷之四

開拓使

其使元箱館府砲兵陸軍省
管轄政 仰付糸同省、可
引渡事

明治六年五月十七日

正院

開拓使